



主な記事

- ①年頭あいさつ 体験プログラム実施しました
- ②③写真で振り返る自然塾の一年
- ④地域のページ

平成二十一年十二月二十日(日)、名草セミナーハウスにて、体験プログラム「田んぼの学校！〜加工編〜しめ縄づくりと餅つき」を実施しました。六月から十月にかけて実施した「田んぼの学校！稲の栽培体験」の参加者も含め、十五組三十五名のご参加をいただきました。午前九時半に集合し



いただいたき、しめ縄づくりから体験を始めました。

自然塾体験プログラム 田んぼの学校！〜加工編〜しめ縄づくりと餅つき 実施しました

三班に分かれた参加者は、それぞれ地元先生の手本を見ながら、稲わらをしめていきました。「神様に捧げるしめ縄は、一般の縄とは逆向きに、締めていきます」と教えられ、なれないしめ縄づくりにも苦労する参加者の方も見受けられました。作業終了後は、先生方があらかじめつくっておいたしめ縄



飾りをお土産に差し上げ、餅つきの体験に移りました。餅つきでは、子どもたちが我さきにと杵を取り、元気よくついていました

大きな杵を振り上げ過ぎてふらつく子も見られ、和やかな雰囲気でも体験をしていただきました。つきあがった餅は、その場で取り分け、あんこ、きなこ、大根からみで試食していただきました。最後にのし餅をお渡しし、皆様にはふるさとのお正月準備を存分に味わっていただけたのではないのでしょうか。

「名草ふるさと交流館」と共に

足利・名草ふるさと自然塾運営協議会

会長 青木 孝夫

新年あけましておめでとうございませす。旧年中は、皆様には足利・名草ふるさと自然塾の推進に、深いご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

自然塾も、新しい年を迎え、今年は活動拠点の古民家移築工事も終わり、「名草ふるさと交流館」と

して、新たな使命を担って再生、スタートする記念すべき年でとなります。

このときにあたり、協議会も平成二十年五月一日から正式にスタートし、体験プログラムを中心に活動して参りましたが、これまでの活動を反省・精査し、皆様のご意見を聞き、運営体制を整え、

新たにスタートすべく、コーディネートに「NPO法人まちづくり支援センター」理事長の為国孝敏先生を招いて、研修会を重ねておるところで、まだ途中ですが、いくつもの課題が浮き彫りになってきました。これらの課題を一つ一つクリアし、「名草ふるさと交流館」と共に活

動充実のステップの年と考えております。

地域の自然、文化、歴史、田舎の達人等の掘り起こし、地元特産品の開発、眠っていると言われている名草弁天様、グリーンツーリズム、農業観光等々夢は広がります。

行政と地域支援団体との協働により、

一歩一歩推進してきたいと考えております。皆様には今年も、自治会のご協力を得て「ふるさと通信」を通して、情報をお伝えしていきまので、皆様のご意見をお寄せ下さい。

今年も皆様には、変わらぬご指導ご支援をお願いいたします。年頭のあいさつといたします。

自然塾の一年 2009



◆二月八日
「大豆の力を学ぼう！」
自分たちで栽培した大豆
を使って、昔ながらの方法
で、手前味噌を仕込みまし
た。

早いもので、ふるさと通
信も、創刊一周年を迎える
ことが出来ました。この
間、さまざまな方のご支援
をいただきましたことを、
御礼申し上げます。
今回は、平成二十一年中
の自然塾の活動について、
写真を交えて振り返って
いきたいと思えます。



◆三月八日
「しいたけの植菌体験」
ドリルで原木に穴を空け、
種駒を打ち込みました。



◆三月一日
「炭焼き体験」
炭焼き窯に原木を入れ、火
をつけました。



◆五月十七〜十八日
「先進地視察」
宮城、福島の先進事例を視
察・研修しました。



◆四月十七日
「自然塾運営協議会総会」
この日をもって、二十一年
度事業が始まりました。



◆六月十四日
「田んぼの学校！」
晴天の下、田植えを行ない
ました。



◆五月二十四日
「ロープを使って木に登ろう！」
ツリークライミング体験
を実施しました。

写真で振り返る



◆七月十九日
「田んぼの学校！」
稲の生長を観察し、里山の自然を使った遊びを体験しました。



◆七月五日
「大豆の力を学ぼう！」
雨天のため、プランターへ種を蒔いた後、豆腐づくりに挑戦しました。



◆九月六日
「フラワーフェスティバル」
河川公園を中心としたイベントに二二〇〇人の来場者をいただきました。



◆八月九日
「そばをみんなで育てよう！」
種まき後、名草川にて実施された川の観察会に参加しました。



◆十月十八日
「田んぼの学校！」
黄金色に染まった田んぼで、手鎌を使って稲刈りを実施しました。



◆九月十三日
「くわがたを育ててみよう！」
幼虫の飼育方法を学び、飼育ケースを持ち帰り観察していただきました。



◆十二月九日
「そばをみんなで育てよう！」
収穫したそばを使って、手打ちそばを体験し、その場で試食しました。



◆十月二十五日
「名草ふるさと収穫祭」
各体験プログラムの参加者にお集まりいただき、交流会を行ないました。

駆け足で振り返らせていただきましたが、いかがでしたでしょうか。ここに挙げられていない事業も含め、昨年もたくさんの方に参加、ご協力をいただきました。ありがとうございました。
今年、拠点施設「名草ふるさと交流館」も完成する中で、一層充実した事業を実施してまいりますので、本年もよろしくお願いたします。



名草ふるさと交流館 移築作業進む

本紙面にてたびたび登場している「名草ふるさと交流館」は、現在順調に移築作業が進んでおります。

屋根に瓦が敷かれ、その姿が少しずつ見えるようになってきました。今春オープンにご期待下さい。

よりよい活動を目指して 運営研修会を実施しています

足利・名草ふるさと自然塾も活動四年目を迎え、各種事業、体験プログラムを見直すことが必要となつてまいりました。そこで、NPO法人まちづくり支援センター理事長の為国孝敏氏をコーディネーターに



に迎え、協働のまちづくりをヒントにして、よりよい自然塾の運営を目指した研修会を実施しております。これまで二回の研修を行い、近隣の活動団体の先進事例を参考に、これまでの活動の振り返りを行いま

名草の伝説 名草弁天

(中島 太郎 著
北の郷物語より)

名草町の山間部に国の天然記念物にも指定された巨石群を境内に持つ厳島神社があります。弘仁年間(八一〇〜八二二)、真言宗の開祖弘法大師が足利の寺院に安置したに赴いて山中

をさまよう内、突如現れた弁才天像が行方不明になり、自らその探索に赴いて山中をさまよう内、突如現れた白蛇に導かれてたどり着いた地に靈示を感じ、水源の守りに弁才天を勧請したの

足利・名草ふるさと通信では、自然塾の情報、名草地区の情報を発信していきます。身近な情報をお寄せください。

【連絡先】足利・名草ふるさと自然塾運営協議会 (事務局 足利市産業振興部農務課)

電話 0284-20-2161 FAX 0284-21-0643

E-mail info@ashikaga-nagusa.com URL <http://www.ashikaga-nagusa.com>